

統計トピックス

就業構造基本調査

平成24年10月1日現在で実施します。

全国の15歳以上の者約100万人を対象として調査

調査の目的

国民の就業及び不就業の状態を調査し、全国及び地域別の就業構造の実態を明らかにすることを目的としています。

調査事項

- ・有業者に関する事項（従業上の地位、雇用形態、産業、転職又は追加就業の希望の有無等）
- ・無業者に関する事項（就業希望の有無、非就業希望理由等）
- ・前職、初職に関する事項、訓練・自己啓発の有無 等

調査結果の公表

インターネット（e-Stat）や報告書により公表します。

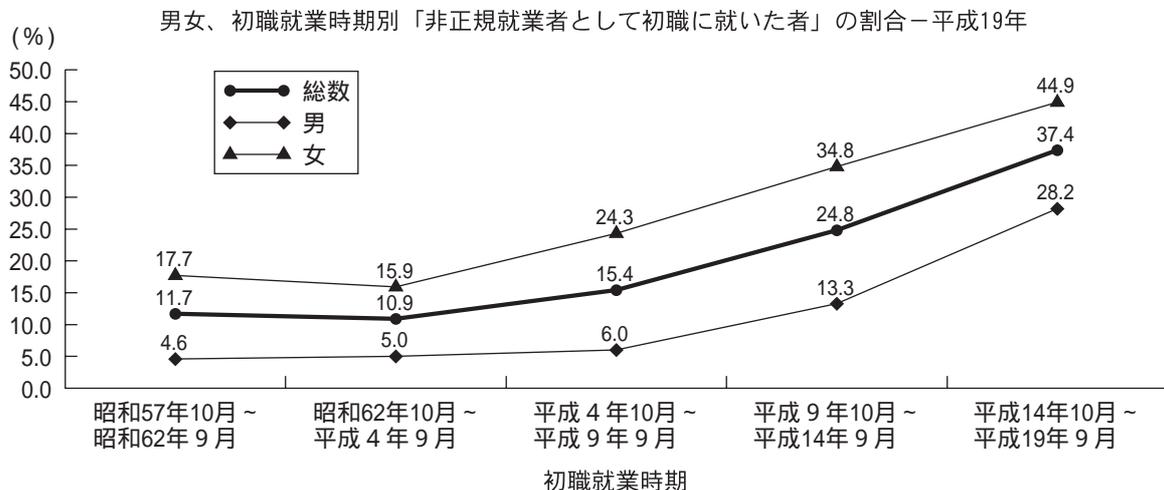
- ・集計結果：平成25年7月予定

前回の調査結果から

調査結果からは、正規・非正規雇用者の就業状態の違い、高齢者・若年層の就業状況など、各種の就業・不就業に関する全国や都道府県別の状態が明らかになります。

○初職就業時の雇用形態（石川県）

「平成14年10月～19年9月」に初めて職に就いた者の「非正規就業者」の割合をみると、年々増加していることがわかります。



初職就業時に「雇用者（役員を除く）だった者に占める非正規就業者」の割合